広　報
南会津広域圏
Minamiaizu Kouiki Public Relations No.48

消防救急デジタル無線・消防指令システムの整備

消防本部では、消防救急デジタル無線・消防指令システムの整備を平成２８年４月の正式運用に向けて進めています。

消防デジタル無線の整備については、周波数資源の有効活用、プライバシー保護、データ通信の活用を目的として、新たにデジタル基地局７ヵ所を建設し、無線方式を現行のアナログ方式からデジタル方式へと移行するもので、正式運用に向けて、現在整備中です。

消防指令システムの整備については、業務の効率化・高度化を図る目的として、従来４ヵ所の指令業務を１ヵ所に集約し、高度化されたシステムを導入するものです。平成２７年３月２５日から仮運用を開始し、１１９番通報（火事・災害・救急等）の受信体制が変わり、これまで本署、伊南出張所、只見出張所、下郷出張所で受信していた１１９番通報を消防本部通信指令室の「通信指令台」で一括受信し、各署所に出動指令を出します。

また、今後は、聴覚や言葉の不自由な方でも１１９番通報ができるように、ＦＡＸ１１９番通報やｅメール１１９番通報の事前登録などの準備を進めていきます。

現在整備中の基地局鉄塔（写真左側）

現在整備中の通信指令室

電話番号変更のお知らせ　－平成２７年４月１日からの新しい電話番号－

平成２７年４月１日より、消防本部（署）の電話番号が下記のとおり変更となります。なお、出張所・分遣所の電話番号に変更はありません。

消防本部（署）		
代表電話		０２４１－６３－３１１９
総務課	総務係	０２４１－６３－３１１８
予防課	予防係 危険物係	０２４１－６３－３１１７
警防課	警防救助係 救急係 指令係	０２４１－６３－３１１６
〈災害情報案内〉		０２４１－６２－２１４１

緊急時は１１９番へ

○ダイヤルイン方式となります。

○ご用の担当する課・係へ、お電話して下さい。

○担当課がご不明なときは、代表番号へ。

○６２局と６３局をお間違えのないようにお願いします。

※１１９番への災害等の問い合わせはご遠慮下さい。
災害発生時は、災害情報案内の電話番号（0241-62-2141）へお問い合わせ下さい。
音声で災害概要・場所等がご確認できます。
例「○○○町○○○地内　建物火災発生」

つけましたか？
住宅用火災警報器

あなたと家族の命を守る！

南会津広域圏組合火災予防条例により、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています！

・住宅火災による死者数は、高齢化の進展により急増しています。死亡の主な原因は、火災に気付くのが遅れた事による「逃げ遅れ」で、半数以上の方が高齢者であり、今後も増加するおそれがあります。
・住宅火災による死者数を低減させるために住宅用火災警報器の設置が不可欠です。
・すでに設置が済んでいる方は、定期的な点検や作動確認を行って下さい。
また、**住宅用火災警報器の寿命はおおむね１０年と言われています。**
詳しくは、お手持ちの取扱説明書をご確認下さい。

※ご不明な点はお問合せ下さい。
市外局番:0241　消防本部･署　62-2141（4月以降は予防課　63-3117）
伊南出張所　76-2119　只見出張所　84-2700
下郷出張所　67-3015　舘岩分遣所　78-2116　檜枝岐分遣所 75-2119

第39回　防火ポスターコンクール

最優秀賞（一般社団法人 福島県危険物安全協会連合会長賞）
下郷町立 旭田小学校　室井（むろい）　葉月（はづき）さん

優秀賞

賞	学校	氏名
〔南会津地方広域市町村圏組合消防本部消防長賞〕	旭田小学校	湯田悠斗さん
	田島小学校	星わか菜さん
〔南会津危険物安全協会長賞〕	旭田小学校	一柳怜央さん
	旭田小学校	五十嵐陽奈さん
〔南会津防火管理連絡協議会長賞〕	荒海小学校	星　優妃さん
	田島小学校	中嶋一聖さん
〔南会津消防設備協会長賞〕	舘岩小学校	湯田菜那葉さん
	旭田小学校	星あかりさん
〔福島県消防協会南会津支部長賞〕	只見小学校	酒井香苗さん
〔南会津地方少年婦人防火クラブ委員会長賞〕	舘岩小学校	湯田真央さん
〔南会津地方〝纏〟会長賞〕	旭田小学校	酒井柚葉さん

優秀学校賞　「下郷町立 旭田小学校」

第３０回少年消防クラブリーダー研修会

平成２６年７月２９日、消防に対する知識を深め、防火・防災の意識を高めるとともに、クラブ員同士の親睦を深めることを目的に第３０回少年消防クラブリーダー研修会が開催されました。研修会には、南会津管内で少年消防クラブが設置されている１１の小学校から代表５０名が参加し、各クラブの活動発表や消防車両見学、放水体験、煙体験などを行い、閉会式では、参加者全員に修了証と記念品が授与されました。

山岳救助隊発足

平成２６年８月６日、増加する山岳遭難事故などに対応する山岳救助隊が発足しました。

山岳救助隊は、山岳遭難救助研修や専門のロープ救助研修の修了者ら専門的な救助の技術の取得者２２人で編成されています。今後は訓練を通して山岳救助に特化した技術を磨くとともに、専門の資機材の使用などに精通した人材を育成し、登山客の安全確保に努めます。

南会津広域圏の人口と世帯数
人口：27,527人（南会津町:16,441人、下郷町:5,954人、只見町:4,512人、檜枝岐村:620人）、世帯：10,516
（平成27年2月1日現在：福島県企画調整部統計課調べ福島県の推計人口より）

《編集・発行》
南会津地方広域市町村圏組合
〒967-0004　福島県南会津郡南会津町田島字西町甲4331　TEL (0241)62-0054　FAX (0241)62-0115
HP　http://www.minamiaizu-kouiki.jp　　E-mail　info@minamiaizu-kouiki.jp

平成26年

火災と救急

火災	12件
救急	1,565件
救助	33件

第３２回南会津地方統一防火標語
『火の用心　地域ぐるみで　火災ゼロ』
最優秀賞　南会津町　渡部　トクエさん

平成２６年１月１日～１２月３１日までの昨年１年間の南会津管内における火災と救急は、次のとおりでした。
平成２６年中、火災による死者及び傷者は共に１名で昨年と同数でした。火災発生件数は、昨年の１７件より５件減少し１２件でした。町村別の発生件数は、南会津町が６件、下郷町３件、只見町３件で、檜枝岐村での火災はありませんでした。火災の種別では、建物火災３件、林野火災２件、車両火災１件、その他火災は６件でした。救急出動件数は、前年比で１２８件減少し１，５６５件となり、近年増加の一途にあった出動件数も昨年より２年連続の減少となりました。町村別では、南会津町９４０件、下郷町３１０件、只見町２６５件、檜枝岐村が４６件で、管外が４件でした。事故種別では、急病８８０件、一般負傷２５９件、交通事故１１２件、その他３１４件でした。救助出動件数は、前年比で１３件増加し３３件でした。救助種別では、交通事故１４件、山岳事故９件、水難事故３件、その他事故７件でした。

救急協力者へ感謝状の贈呈

平成２７年１月１２日に南会津町の静川で発生した救急出動事案において、早期１１９番通報を実施後、救急隊到着まで適切な救命手当を実施して、救命活動に貢献された、南会津町の山内輝日児さん、野中新三さん、星和衛さんに感謝状を贈呈しました。

消防活動協力団体へ感謝状の贈呈

南会津広域消防発足４０周年にあたり、長く火災予防広報活動に貢献された団体、消防車両の給油業務に携わり消防活動の円滑化に貢献された団体、並びに消防車両の整備業務に携わり消防活動の円滑化に貢献された団体に対して消防本部より感謝状を贈呈しました。

危険業務従事者叙勲

第２２回危険業務従事者叙勲において、元南会津地方広域市町村圏組合消防司令長の大竹正一さん（写真左）に瑞宝双光章が授与されました。
また、第２３回危険業務従事者叙勲において、元南会津地方広域市町村圏組合消防司令の芳賀正義さん、遠藤信男さん（写真右）に瑞宝単光章が授与されました。

救急認定事業所

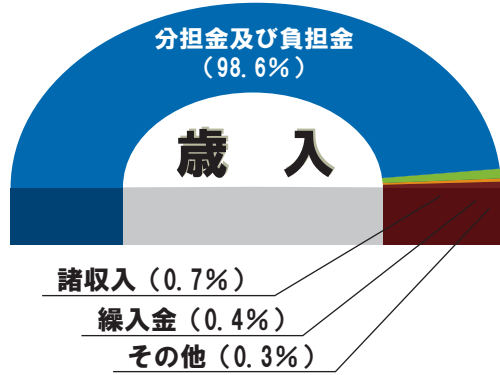
消防本部では、平成２４年より地域の救命率向上を目的に応急手当に関する正しい知識と技術を普及させるための救命講習等の受講を推進するとともに、自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を設置し、救急隊が到着するまでの間に適切な応急手当の実施ができる事業所を救急認定事業所に認定し、認定書を交付しています。
平成２６年中は、１２事業所が新たに認定を受けており、平成２７年２月１日現在では、７７事業所が認定されています。

第１０回南会津救急フェア

消防本部では、救急医療及び救急業務に対する地域住民の理解と認識を深め応急手当の普及啓発を図るため、平成２６年９月６日に「第１０回南会津救急フェア」を開催しました。当日は南会津病院の根本医師による講演やＡＥＤ使用を含む心肺蘇生法講習などを行いました。
また、消防本部では、毎月第２土曜日に救急講習会を開催しており、平成２６年には８１回開催され、２，０５８名が受講されました。参加希望者は消防署救急係までお問い合わせ下さい。

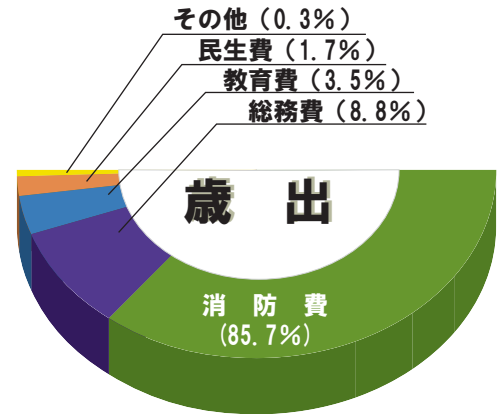
お問い合わせ先：消防署救急係　0241-62-2141
（４月以降は　0241-63-3116）

平成２７年度　南会津地方広域市町村圏組合予算

平成２７年度一般会計予算　１２億３１３０万７千円

（単位：千円）

歳　入　項　目	予　算
分担金及び負担金（構成町村から）	1,213,795
使用料及び手数料（危険物関係許可手数料）	385
国庫支出金（国からの補助金など）	1
県支出金（福島県からの補助金など）	16
財産収入（財産運用の利子など）	6
寄附金	2
繰入金（基金からの繰入金）	4,779
繰越金（前年度からの繰越金）	4,000
諸収入（各種助成金など）	8,322
組合債（借入金）	1
合　計	1,231,307

（単位：千円）

歳　出　項　目	予　算
議会費（議会の運営）	555
総務費（事務局の運営）	108,599
民生費（介護認定審査会の運営）	20,724
衛生費（救急医療対策在宅当番医制運営）	1,066
消防費（消防・救急業務の運営）	1,055,269
教育費（外国語指導助手の運営）	43,093
公債費（借入金返済）	1
予備費	2,000
合　計	1,231,307

平成２７年度特別会計予算　４８５３万２千円

●ふるさと市町村圏事業特別会計予算　5624千円

10億円のふるさと市町村圏基金の運用益を活用し、広域的な地域振興事業を行うための予算が、この「ふるさと市町村圏事業特別会計予算」です。

●地域医療支援センター特別会計予算　39062千円

南会津郡内における第一次医療の補完を行うため、医師及び看護師等を配置し、病院・医院等の診療支援、通院困難な患者に対する訪問診療、特別養護老人ホーム入所者の診療、健康教室などの保健予防活動を行っています。

●あいづふるさと基金事業特別会計予算　3846千円

全会津の振興整備のため、会津若松地方、喜多方地方、南会津地方が協力して、30億円の基金を設置し、その果実を財源に、地域振興事業を行うのが、この「あいづふるさと基金特別会計予算」です。

事業のご紹介

◆Assistant Language Teacher（外国語指導助手）事業

本広域圏組合では、７名の外国語指導助手（ＡＬＴ）を招致しており、南会津町田島地域に２名、南会津町舘岩地域に１名、南会津町南郷・伊南地域に１名、下郷町に１名、只見町に１名、檜枝岐村に１名を配置しております。ＡＬＴの先生方は主に南会津郡内の中学校で日本人英語教員と協同で英語の授業を行っており、また、小学校や保育所などへも積極的に訪問し交流を深めております。この事業では地域の皆さんと国際交流を図ることも大きな目的のひとつであり、多くの皆さんとの交流の輪を広げていきたいと考えています。

◆介護認定審査会の運営事業

本広域圏組合では、平成１２年からの介護保険制度実施に伴い、構成町村の介護認定審査会事務を共同処理事務として、要介護認定等の審査判定（二次判定）を実施しております。介護認定審査会委員は医療分野・保健分野・福祉分野に関する学識経験者２７名で構成され、３つの合議体で審査会を開催して審査判定を行っております。平成２５年度は審査会を９６回開催し、審査判定件数は２，３９２件でした。